

以外からも注目を集めている。

独 作

「エアコンドクター・S VI」

る効果を発 五台の受注があるなど、揮する。 滑り出しも上々。理想のこれによ スタートを切った。

発売記念キャンペーン好調

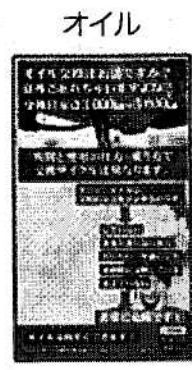
ムラキ

ムラキが今月三十一日まで発売記念キャンペーンを展開する、デジタルサイネージ「MSP Digital (デジタル)」の好調ぶりが顕著だ。月々レンタル料を税別二万九千八百円(四月一日以降三万円)にする

発売記念キャンペーンでは当初、全国

オリジナルデジタルサイネージコンテンツ「鮮度管理」に評価

百合を目標にしていたが、二月中旬の訴求開始から約二週間で目標クリア。一段の受注台数伸長に向け、同社は手応え十分だ。十台以上まとめて導入する事例もあり、放映コンテンツ制作と「鮮度管理」の仕組みを評価する声が多いようだ。同社がデジタルサイネージ販売でソフト・ハード・販促品をオリジナルワンパッケージにし、初期投資費用がかからない一年契約のレンタル方式を採用したのも、質の高い放映コンテンツ提供に傾注するため。同社は「サイネージ活用でカギとなる放映コンテンツの鮮度管理について、現場の負担を抑えたい」と強調する。



基本コンテンツ各種



放映イメージ

GSユアサ AGV用リチウムイオン 上海企業に納入

GSユアサは、上海振華重工が中国上海市の洋行に、同社製港灣リチウムイオン電池を搭載した五十台の港灣AGVは、来年一月から運用が開始される。今回の受注システムは大容量タイプのリチウムイオン電池「LIM50EN12」を搭載し、一台の港灣用AGVに千八百セルの蓄電池が使用される。港灣用AGVは、海上輸送用コンテナを集積するコンテナヤードから、コンテナ船への荷役を行うクランティックレーンの間を無人運転で往復してコンテナ搬送する車両。

自賠償広報強化 タブレットな特設サイトで 一般社団法人日本損害保険協会は、二〇二五年度自賠償保険広報活動の強化期間を三月三十一日まで展開している。期間中に開設する特設サイトでは、クイズ正解者の中から、

5000回充放電の鉛蓄電池 主用途は再生可能エネ

GSユアサが発売

GSユアサは、五千回の充放電が可能でサイクル寿命の鉛蓄電池「SLR1000」を発売した。サイクル寿命が従来の二倍に伸び、毎日充放電を繰り返す。このため従来の鉛蓄電池の交換頻度が高くなるという課題があった。こうした状況下で発売された新商品は、再生可能エネルギーや電力貯蔵システムなど、充放電を繰り返す用途のために開発された高性能電池だ。同社は産業用電池のリディングカンパニーとして、長年培ってきた技術を結集し、従来品対比で二倍以上の寿命特性を備え、頻繁に充放電が繰り返